教　員　選　考　調　書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　工学域（２０○○・○○・○○ 学域会議資料)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ふりがな氏　　名 | こう　べ　た　ろう神　戸　太　郎 | 国　籍 | 日本 |
| 生年月日性　　別 | １９７０年　５月２０日■男　　□女 | 現住所(国内住所) | 神戸市灘区鶴甲１－１－１ |
| 就こうとする職名 | 教授 |
| 専任兼任の別 | 専任 | 学位称号 | 博士（工学） |
| 担当専攻講座教育研究分野名 | 機械工学専攻材料物理講座材料物性学 | 研究者番号 | １２３４５６７ |
| ORCID | 0000-0002-8906-1111 |
| 略歴（学歴，職歴，教育歴，所属機関，学会及び社会における活動，受賞） |
| 年　　月 | （学　　　　　歴） |
| 1988年　3月 | 兵庫県立鶴甲高等学校　卒業 |
| 1988年　4月 | 六甲大学工学部機械工学科　入学 |
| 1992年　3月 | 同　上　卒業 |
| 1992年　4月 | 六甲大学大学院工学研究科博士課程前期課程機械工学専攻　入学 |
| 1994年　3月 | 同　上　修了 |
| 1994年　4月 | 六甲大学大学院工学研究科博士課程後期課程機械工学専攻　進学 |
| 1997年　3月 | 同　上　修了 |
| 1997年　3月 | 博士（工学）（六甲大学）（博い第111号） |
| 年　　月 | （職　　　　　歴） |
| 1997年　4月 | ㈱山菱電気生産技術研究所 社員（1999年3月15日まで） |
| 1999年　4月 | 六甲大学工学部機械工学科 助手 |
| 2002年　4月 | 六甲大学工学部機械工学科 講師 |
| 2003年　4月 | 米国カリフォリニア大学客員研究員（山田海外留学奨励会第12期奨学生）　（2004年3月31日まで） |
| 2004年　4月 | 神戸大学工学部機械工学科 講師 |
| 2005年　4月 | 神戸大学工学部機械工学科 助教授 |
| 2007年　4月 | 神戸大学大学院工学研究科機械工学専攻 准教授　（現在に至る） |
|  |  |
| (教育歴，過去5年間の担当講義科目) |
| 勤務先 | 職 名 | 開講部局・専攻又は学科等の名称 | 担当授業科目名 | 対象学年 | 担当総時間数（年当たり） | 備　　考 |
| 六甲大学 | 非常勤講師 | 工学部・機械工学科 | ○○演習 | 学部2年 | 45 | 2008～2012年　　前期  |
| 神戸大学 | 准教授 | 工学部・機械工学科 | ○○学I | 学部3年 | 22.5 | 2009～2012年　　後期 |
| 神戸大学 | 准教授 | 工学研究科・機械工学専攻 | ○○特論 | 前期1年 | 22.5 | 2009～2012年　　後期 |
| 神戸大学 | 准教授 | 工学研究科・機械工学専攻 | ○○学 | 後期1年 | 22.5 | 2010～2012年　　前期 |
| 神戸大学 | 准教授 | 工学研究科・機械工学専攻 | 特定研究 | 後期課程 | ○○ | 2010～2012年　　通年 |
| 年　　月 | （所属機関における過去5年間の活動） |
| 2009年　4月 | 教学委員会委員(2010年3月まで) |
| 2011年　4月 | 工学系研究科等衛生管理専門委員会委員(2012年3月まで) |
| 2012年　4月 | 学生委員会委員（現在に至る） |
| 年　　月 | (学会及び社会における活動) |
| 1990年　5月 | 日本構造学会 学生会員(1992年3月まで) |
| 1992年　4月 | 日本構造学会　正会員（現在に至る） |
| 1999年　5月 | 日本生体学会骨再生部門委員会委員(2001年3月まで) |
| 2002年　5月 | 日本構造学会分子動力学法に関する調査研究分科会主査(2003年3月まで) |
| 2004年　7月 | 日本構造学会「欧州構造基準調査団」団長 |
| 2004年　9月 | 米国機械学会(ASME)正員（現在に至る） |
| 2005年　8月 | ASME夏期講演会，材料不安定に関するセッションのオーガナイザー |
| 2007年　4月 | 市民講座「生体構造の不思議」講師(主催：神戸市) |
| 2007年　6月 | 日本生体学会理事(2009年5月まで) |
| 2008年10月 | Proceeding of the International Symposium on Structureのエディター（現在に至る） |
| 年　　月 | (受　　賞) |
| 1999年　9月 | 日本構造学会奨励賞「○○○○に関する研究」（日本構造学会） |
| 2004年10月 | 日本生体学会論文賞受賞（日本生体学会） |
| 2012年　4月 | 構造物生産革新業績賞受賞（(財)生産性振興協会） |

教育研究上の業績

＜著書＞

［著者，著書名，発行所，開始頁-最終頁，発行年，分担執筆の場合の担当部分（章／頁など），URL（ハイパーリンクを設定）］

* 1. 神戸太郎，「複合材の界面不安定現象の研究」，六甲大学博士論文, 全120p. (1997)，<http://www.lib.rokko-u.ac.jp/repository/D1001088>
	2. 神戸太郎，「生体力学の基礎」，山下出版,　全156p. (2002) (<http://www>......)
	3. 山田太郎，神戸太郎，「複合材の強度評価」，学術出版，全250p. (2007)，（分担執筆）第4, 5, 6章pp.xxx-xxxを担当　(<http://www>......)

＜学術論文＞

a．学会誌，専門誌等に掲載された論文

［著者，題目，掲載誌，巻，号，開始頁-最終頁，発行年，DOI番号（ハイパーリンクを設定）］

a-1. WOS Core Collectionにインデックスされている論文

1. T. Kobe, M. Shimoi, “Cyclic Internal Pressure Tests of a Force-Cooled Pipe-In-Conduit Superconductor for a Fusion Application”, IEEE Trans. Magnetics, Vol.24, no.2, pp.1149-1152 (1997) (doi: <https://doi.org/10.1038/d41586-025-01911-5>)
2. H. Kitamura, A. Nakayama，Z. Nakamura, and T. Kobe, “Molecular Dynamics Study of Crack Processes Associated with Dislocation Nucleated at the Tip”, J. Appl. Polymer Sci., vol.32, No.1, pp.263-269 (2003) (doi: <https://doi.org/10.1038/d41586-025-01911-5>)
3. H. Kitamura, A. Nakayama，Z. Nakamura, and T. Kobe, “Dislocation Nucleated at the Tip”, Appl. Phys. Lett., vol.100, pp.120301, 全4p. (2011) (doi: <https://doi.org/10.1038/d41586-025-01911-5>)
4. T. Kobe, and A. Nakayama, “Molecular Dynamics Study of Crack Processes Associated with Dislocation Nucleated at the Tip(2)”, J. Appl. Polymer Sci., 印刷中 (doi: <https://doi.org/10.1038/d41586-025-01911-5>)

a-2. WOS Core Collectionにインデックスされていない論文

1. 山田実，神戸太郎，「円孔列を有する帯板の引張り」，日本構造論文集A編，Vol.49, No.443, pp.863-868 (1996) (doi: <https://doi.org/10.1038/d41586-025-01911-5>)
2. 神戸太郎, 北山浩, 下村恭之，「界面あるいは表面不均質変形のフラクタル特性」，材料, Vol41, No.470, pp.1611-1615 (1999) (doi: <https://doi.org/10.1038/d41586-025-01911-5>)

3’. T. Kobe, H. Kitayama, and K. Shimomura, “Fractal properties of interfacial and surface heterogeneity”,Material, Vol. 41, pp. E1001-E1010(1999) (doi: <https://doi.org/10.1038/d41586-025-01911-5>) (3の英訳版)

b．国際会議等のProceedingsに掲載された論文

［著者，題目，掲載誌，巻，号，開始頁-最終頁，発行年，DOI番号（ハイパーリンクを設定）］

b-1. WOS Core Collectionにインデックスされている論文

1. T. Morie, and T. Kobe, “Experimental Study for Steel-Carbon Bond of Circular Plate”, Proc. of 11th Symp. on Nuclear Engineering, Vol.2, pp.937-940 (1996) (doi: <https://doi.org/10.1038/d41586-025-01911-5>)
2. H. Kitamura, T. Nakayama, and T. Kobe, “Growth of Interfacial Inhomogeneous Deformation in Thin Laminated Material”, Proc. of 38th Int. Conf. on Production Research, C. Teodosiu et al, eds., pp.261-269(2006) (doi: <https://doi.org/10.1038/d41586-025-01911-5>)
3. V. Vitek, C. B. Besant, and T. Kobe, “Local Atomic Level Elastic Module of Surface Regions”, Proc. of Int. Symp. on Flexible Automation, (Accepted for publication), (2009) (doi: <https://doi.org/10.1038/d41586-025-01911-5>)

b-2. WOS Core Collectionにインデックスされていない論文

1. T. Kobe, H. Kitayama, and T. Kubota, “Plastic Instability of Cylindrical Shell in Contact with Rigid Sphere”, Proc. of 33rd Japan Cong. on Biomechanical Research, pp.215-220 (1998) (doi: https://doi.org/10.1038/d41586-025-01911-5)

c．国内会議の論文

［著者，題目，掲載誌，巻，号，開始頁-最終頁，発行年，DOI番号（ハイパーリンクを設定）］

1. 神戸太郎, 六甲花子，「構造体の効率的設計法に関する研究」，日本構造学会講演会論文集, 18号, pp.5-21, (2005) (doi: <https://doi.org/10.1038/d41586-025-01911-5>)

d. 研究機関の紀要，報告等に掲載された論文

［著者，題目，掲載誌，巻，号，開始頁-最終頁，発行年，DOI番号（ハイパーリンクを設定）］

1. H. Kitayama, T. Kubota, and T. Kobe, “Plastic Stability of Cylindrical Shell Subjected to Pressure”, 神戸大学大学院自然科学研究科紀要Vol. 11-B, pp.215-220 (2006) (doi: <https://doi.org/10.1038/d41586-025-01911-5>)
2. 神戸太郎，「疲労破壊に及ぼす環境温度と湿度」，生産研究, Vol. 240, pp.140-147 (2007) (doi: <https://doi.org/10.1038/d41586-025-01911-5>)
3. 神戸太郎，「生体の微視的応答に関する研究」，生体科学研究所報告, No.12, pp.35-45 (2008) (doi: <https://doi.org/10.1038/d41586-025-01911-5>)

＜学術報告等＞

［著者，題目，掲載誌，巻，号，開始頁-最終頁，発行年，DOI番号（ハイパーリンクを設定）］

1. 神戸太郎, 鶴甲有美，「生体の再構築に関する最近の研究動向」，日本生体力学学会論文集, Vol. 32, No.430, pp.12-36 (2005) (doi: <https://doi.org/10.1038/d41586-025-01911-5>)（解説論文）
2. 神戸太郎，「構造解析の教育法について」，日本構造学会誌, Vol.43, No.230, pp.30-38 (2006) (doi: <https://doi.org/10.1038/d41586-025-01911-5>)（展望記事）
3. 神戸太郎, 鶴田甲士郎，「骨の再構築の力学的モデル」，日本機械学会誌, Vol.53, No.456, pp.46-57(2007) (DOI: xxxxxxxxx)（招待論文）
4. 神戸太郎，「数値生体力学入門」，日本生体学会誌, Vol.35, No.8, pp.82-90 (2008) (doi: <https://doi.org/10.1038/d41586-025-01911-5>)

（上記以外に5編）

＜学術講演＞

［講演者，題目，学会等の名称，発表年］

1. 神戸太郎, 下町英治，「金属結晶体の非弾性応答の分子動力学シミュレ－ション」，日本機械学会関西支部, 第65期総会講演会(1993)
2. 神戸太郎，「LSIパッケ－ジの発生と進展」，日本機械学会, 材料力学講演会(2006)（基調講演
3. 神戸太郎，「積層複合材の二軸引張り下における界面あれの成長」，日本機械学会第68期, 全国大会講演会(2007)（招待講演）
4. 北山浩, 中山恭之，神戸太郎，「ウェ－ブレット解析のすすめ」，第14回NCP研究会･機械の強度と形態研究会シンポジウム(2008)
5. T. Kobe, and Y. Toyama, “Control of material characteristics in emulsion by crystallization”, 2nd Int. Symp. on Bio Materials (2008) (Keynote lecture)
6. 神戸太郎，「界面強度と複合材の最終強度の相関」，日本航空宇宙学会通常総会講演会(2008)（特別講演）

（上記以外に45編）

＜作品＞

［作品の名称，発表年，作品の発表・設置場所，全発表者名及び全製作者名］

1. 神戸市迎賓館（基本設計），2005年，神戸市，神戸太郎，灘　光男
2. 西宮市産業会館（基本設計），2008年，西宮市，神戸太郎，灘　光男

（上記以外に5件）

＜知的所有権（特許・実用新案等）＞

［出願年，分類，出願番号，発明の名称，発明者］

a.登録

1. 1992年，実用新案，実願H4-10066，振動検出器　(実開H5-11111，登録33333号)，神戸太郎
2. 2006年，特許，特願2006-1122，つりあい試験機軸受け　(登録455555号)，神戸太郎，山田次郎

（上記以外に2件）

b.出願・公開

1. 2009年，特許，特願2009-11000，つりあい試験機　(特開2010-11111)，神戸太郎，山田次郎
2. 2010年，特許(PCT)，特願2010-12344，つりあいの試験方法　(PCT/JP2010/121212, 特表2011-122334)，神戸太郎，山田次郎
3. 2012年，特許，特願2012-11000，未公開特許（出願日：2012年3月15日），神戸太郎

（上記以外に5件）

研究費

＜科学研究費補助金＞

［研究期間（年度），分類，研究課題，直接経費（千円）※分担金は括弧書きで記入］

a.代表

1. 2002-2003年度，特別研究員奨励費，不つりあい試験機軸受けの研究，2,000千円
2. 2004-2008年度，奨励研究(A) ，ふれまわり振動検出器の製作に関する研究，950千円
3. 2010-2013年度，基盤研究(B) ，構造体の微視的応答と巨視的応答に関する研究，15,800千円

b.分担

1. 2007-2009年度，基盤研究(A)，振動検出器製造装置の改善に関する研究，50,000千円　(0千円)
2. 2012-2014年度，挑戦的萌芽研究，構造体形成過程の新規分析法，2,700千円　(1,400千円)

＜共同研究＞

［研究期間（年度），共同研究先の名称，研究課題，金額（千円）※分担金は括弧書きで記入］

a.代表

1. 2006年度，㈱神戸製鋼所，骨の再構築に関する基礎研究，20,000千円
2. 2010-2011年度，兵庫県警，骨構造分析に関する研究，0千円

b.分担

1. 2008-2009年度，三菱電機㈱，しわ発生限度図の構築とその応用，(5,000千円)

＜受託研究＞

［研究期間（年度），受託先の名称，研究課題，金額（千円）※分担金は括弧書きで記入］

a.代表

1. 2005-2008年度，独立行政法人　科学技術振興機構，ポリマーのメゾメカニカルモデルの研究，20,000千円

b.分担

1. 2008年度，(財)神戸高度生産技術研究所，神戸生産ナノクラスター，(15,000千円)

＜公的研究費＞

［研究期間（年度），財団等の名称，研究課題，金額（千円）※分担金は括弧書きで記入］

a.代表

該当なし

b.分担

該当なし

＜奨学寄附金＞

［年度，寄附元の名称，研究課題，金額（千円）※分担金は括弧書きで記入］

a.代表

1. 2009年度，オムロン㈱，神戸太郎准教授に対する研究助成，500千円
2. 2011年度，住友ゴム工業㈱，生体力学に関する研究助成，1,000千円

論文等の略語の説明

Adv. Mater. = Advanced Materials

Anal. Bioanal. Chem. = Analytical and Bioanalytical Chemistry

Chem. Lett. = Chemistry Letters

Denki Kagaku = 「電気化学および工業物理化学」の英文名(～1998年)

Electrochemistry = 「電気化学および工業物理化学」の英文名(1999年～)

Electrochim. Acta = Electrochimica Acta

J. Am. Chem. Soc. = Journal of the American Chemical Society

J. Fluorine Chem. = Journal of Fluorine Chemistry

J. Mater. Chem. = Journal of Materials Chemistry

Opt. Express = Optics Express

Opt. Mater. = Optical Materials

Trans. MRSJ = Transactions of the Materials Research Society of Japan